

(1) 基本的に

普通の運動器系疾患とは思えない程の激痛を訴える人が増えている。90年代後半から見かけるようになり、2000年以降は毎年増加傾向にある。腕の場合は、首肩も痛むが、腕の痛みや痺(しび)れの方が酷いことが多く、物を落としてしまうことも多い。

線維筋痛症の発症時に似ているが、手足どちらか1本だけのことが多い。全身に痛みが出ると、線維筋痛症と診断されるようだ。

原因不明で治療法がなく、たらい回しになることが多い。左腕の場合には、心臓系疾患を疑われるが、検査で異常が見られないようだ。

水毒・瘀血が疑われる腹証・背部症候が見られる。腕なら、腹証は、患側の胸脇苦満や心下痞、背部は、患側の脊椎7-11の華佗経、痞根にツボ。腿なら、患側の瘀血証のこともあり、鼠蹊部の辺り(五枢～維道、居髎)、仙骨の周り、腰徹腹にツボ。

患側の上腕・大腿の陰経側に、邪気が溜まっていることが多く、切経をすると非常に痛がる。鍼をすると、ピリピリピリピリした感じを訴える。ただし、自覚痛はないことが多く、切経の前には痛みを言わない。

初めての発症は、運動した直後、手術出産などの後などに多い。手術出産の後の場合は、瘀血証の徴候が出ている。

腹部の水毒・瘀血から発生した邪気が、上腕・大腿の陰経側に溜まり、感覚神経に不正なインパルスが発生させているような感じを受ける。邪気は、生体内雑電気なのかなという感じもしたし、運動時の骨格筋の活動電位が切っ掛けの可能性も頭に浮かんだ。

治療は、運動器系の応急処置に、腹部の水毒や瘀血を減らす養生を組み合わせる。

食養は、和食を勧める。添加物や精製物を減らした方が良い感じを受ける。水毒や瘀血を減らす漢方薬を併用した方が治りやすいと思うので、漢方の専門医の研究を待ちたい。

添加物や精製物の多い食事と、パソコンや携帯の使用が影響しているのではないか?と思う。パソコンや携帯を使う人が多くなるに連れて、こういう症状を訴える人が多くなってきたように思うので。

(2) ツボが出やすい所

① 上腕、大腿の陰経側

脇の下～上腕陰経、大腿陰経側にある溝の中で一番凹んでいる所。

② 腹部のツボの出ている所

水毒なら、鳩尾、中脘、承満、章門、上脘俞
瘀血なら、五枢～維道、関元、居髎、下脘俞

③ ②の背中側

水毒なら、胸椎7～11の華佗経、痞根
瘀血なら、腰椎3～5の華佗経、腰徹腹、上仙、次髎、仙腸関節

④ ①、②、③と経絡的關係の手足のツボ

上腕・大腿の陽経側、肘膝から先に出ているツボ。

(3) 手順など

① 先急：患部の周りの邪気を減らす

まずは、患部の周りの邪気を減らし、辛さや痛みを軽くする。

手順は、運動器系の応急処置と基本的には同じ。手足甲の陽経側→手足末端の陰経側→上腕や大腿の陰経側→腕や腿の陽経側→手足甲の陽経側。

上腕・大腿の陰経を丁寧に調べ刺鍼。

② 養生：水毒や瘀血を減らす

腹部の水毒や瘀血を減らしながら、患部の痛みや辛さを減らしていく。

仰向けになりにくいようなら、先ず①をして、なれる位には改善する。

慢性期の養生の型をし、必要なら灸をする。

鍼のみで変わりにくいツボが見付かったら、灸頭鍼や補の灸も併用する。

③ 食養なども勧める

和食にする。添加物や精製物を減らす。

要点

① 激痛を訴える人が増えている

② 上腕や大腿の陰経側に邪気が溜まっている

③ 水毒や瘀血の腹証や背部徴候がある